

事業の基礎情報

実施主体	別府市（自治体）
事業実施地域	別府市
共創の種類	官民共創 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉 ・ 商業・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり ・ 交通
共創パートナー	（一社）B-biz LINK（産業・観光）、（一社）タクシー協会、亀の井バス株式会社、大分交通株式会社、（一社）福祉フォーラム in 別杵・速見実行委員会
運行形態	自家用有償旅客運送（定時定路線・AIデマンド交通・ドアToドア）
運行主体	B-biz LINK

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

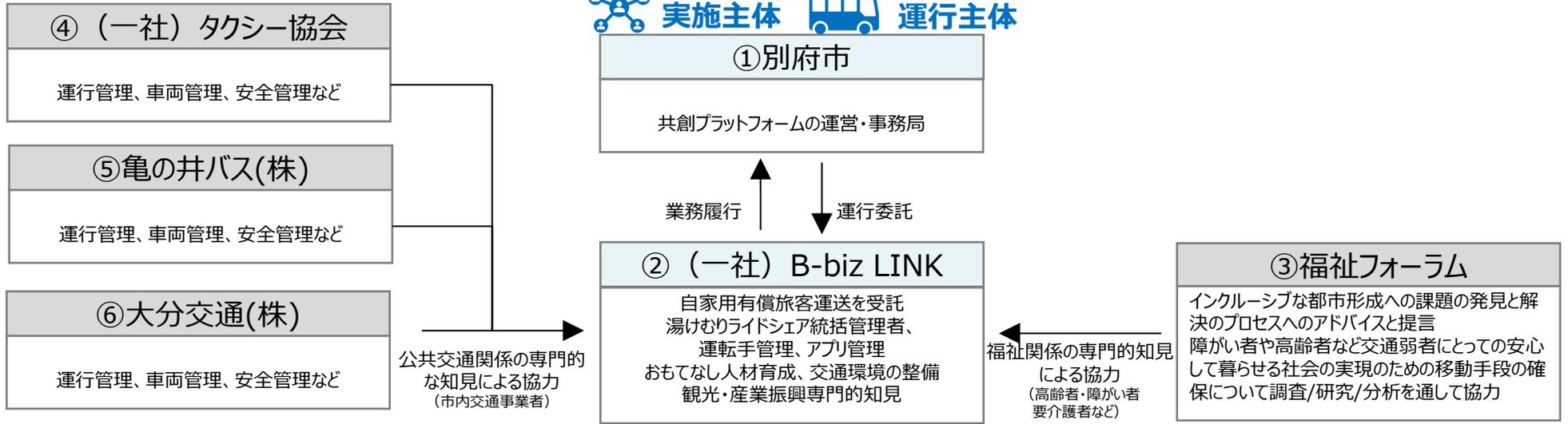
近年の運転手不足によるタクシーの稼働率の低下や路線バスの減便、廃止が加速する地域において、地域の移動手段の確保が不安定になる中、安定した市民や観光客への安定した持続可能な移動モードを確立ことが不可欠である。自家用有償旅客運送（湯けむりライドシェア）の運行受託者として、観光・産業分野に知見のある事業者（B-BizLINK）を選定し、観光視点によるドライバー人材を発掘することは、既存交通の運転手不足への対応及びインバウンドに強い移動手段の確保を図ることができる。また、湯けむりライドシェアを活用した新たな共創の場として、本市を舞台に、インクルーシブな都市モデルを構築し、新たなサービスやプロダクトが連続的に創出され、世界に発信する都市モデルを生み出す取組を行う。地域の多様な関係者が連携・強化を図りながら、それぞれの知見を活かし、新たな社会価値・サービスを創出させることで、地域住民や訪日外国人を含む観光客への安全かつ安定した持続可能な移動手段の確保の実現と「おもてなし」を感じることができる真の国際温泉文化都市らしいインクルーシブ・スマートシティの実現を目的とする。

（事業の概要）

【第1期】 移動手段が脆弱で、本市で最も高齢化率の高い南部地域に定時定路線による湯けむりライドシェアの実証運行を実施することで、誰もが移動手段に困らない環境整備する。

【第2期】 10月に路線バスが廃線となる北部地域における代替路線の確保のため、湯けむりライドシェアの実証運行を実施。実施内容については、地域の意識調査を実施した後、運行方法等を決定

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- ② 観光産業の専門的知見に基づき移動手段の確保の実現及び他の関係者との統括を行う
- ③ 障害者目線での移動手段の確保の実現
- ④ 既存タクシーとの共存共栄を図りつつ新たな移動手段の確保を実現
- ⑤⑥ 既存バス路線との共存共栄を図りつつ、新たな移動手段の確保を実現。また湯けむりライドシェアの運行管理や車両管理、安全管理について協力

(実証事業により見込まれる効果)

今まで外出の機会がなかった方の移動手段が改善することにより、生き生きとした社会生活を日常的に送ることができるまちを実現し、自動車等を利用できない子ども（学生含む）、障害者、高齢者など、外出機会の増加による健康及び福祉の増進、交流の創出による地域及び経済の活性化など、導入効果の向上効果が期待できる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

実施主体	内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
別府市	申請・調査等	★	★	協議			★	調査		★	調査		
	車両購入					★	★						★
	運転手募集・研修		★	—	★								
B-biz LINK	第1期実証運行			★	第1フェーズ								★
	第2期実証運行							★	第1フェーズ				★
	実証運行結果検証										★	—	★
	実績報告												★

(補助事業実施後の予定)

アンケートから今後の公共交通について行政主体による環境の整備が期待されている本市においては、今回の取組みにより、地域社会全体で公共交通を支えていく機運を醸成することができる。また、公共交通の活性化だけでなく、公共交通を活用した健康・福祉の増進、交流の創出による地域及び経済の活性化などまちづくりや全ての人々が安全・安心に生活できる社会の仕組みづくりが期待される。この事業は、一過性のものにとどめることなく、継続的な取組を行い、市内に点在する交通空白地域への更なる取組を促進させる。湯けむりライドシェアを活用した移動モードと既存の公共交通とが、それぞれ連動・連携し、本市全体の公共交通ネットワークの確立を実現していくことが、将来にわたって持続可能な都市の形成に寄与する上でも必要不可欠なものとなる。また、交通が活性化することで、扶助費の縮減や税収増など間接的に市の財政に対し寄与することが期待され、加えて市民の幸福な日常生活の実現にも貢献する。